

路の長さはおよそ11kmにもおよび、多くの水田をうるおしています。

現在の会津坂下町のかんがい用水

このように、たくさんの人々が苦勞をして、現在のように農業ができるようになり、洪水もほとんどなくなったのです。しかし、大雨で川が増水したときや冬の用水路のかんりは、今でもたいへんな苦勞があるのです。



阿賀川のまわりに水田が広がる
(北会津村近郊)



冬の間の生活用水路のかんり
(佐藤分南)



昔の水路やせきをつくる工事の様子や水害などについて、お家や近所のお年寄りにインタビューしてみよう。

① 誰にきいたか
② わかったこと
③ 感想